

4

原子力発電所で事故が発生したらどうすればいいの？

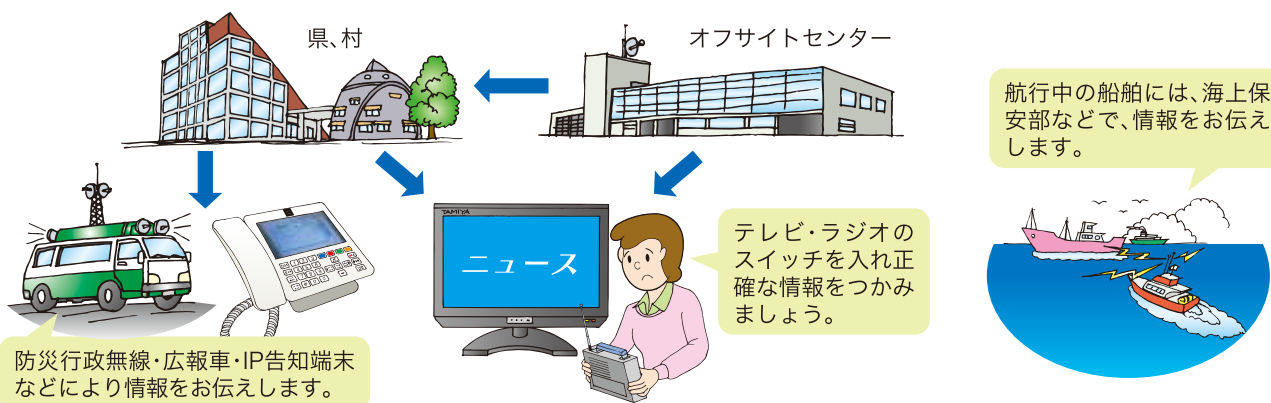
1. 正確な情報の入手を

万一、原子力事故が発生しても、原子力発電所には何重にも安全対策が講じられていることから、放射性物質が放出する事態に至るまでは時間的余裕があると言われています。

各自で判断して行動せず村などからの情報を待ち、指示に従い行動しましょう。

1 原子力防災情報の伝達

原子力施設で事故が発生し、周辺地域に影響がおよぶおそれがあるときは、防災行政無線、広報車、IP告知端末、テレビ、ラジオの緊急放送などのあらゆる手段を用いて、繰り返し広報を行います。



2 情報がよく聞き取れなかった場合

情報はいろいろな方法で繰り返し伝えられますので、落ち着いて情報の内容を確認してください。

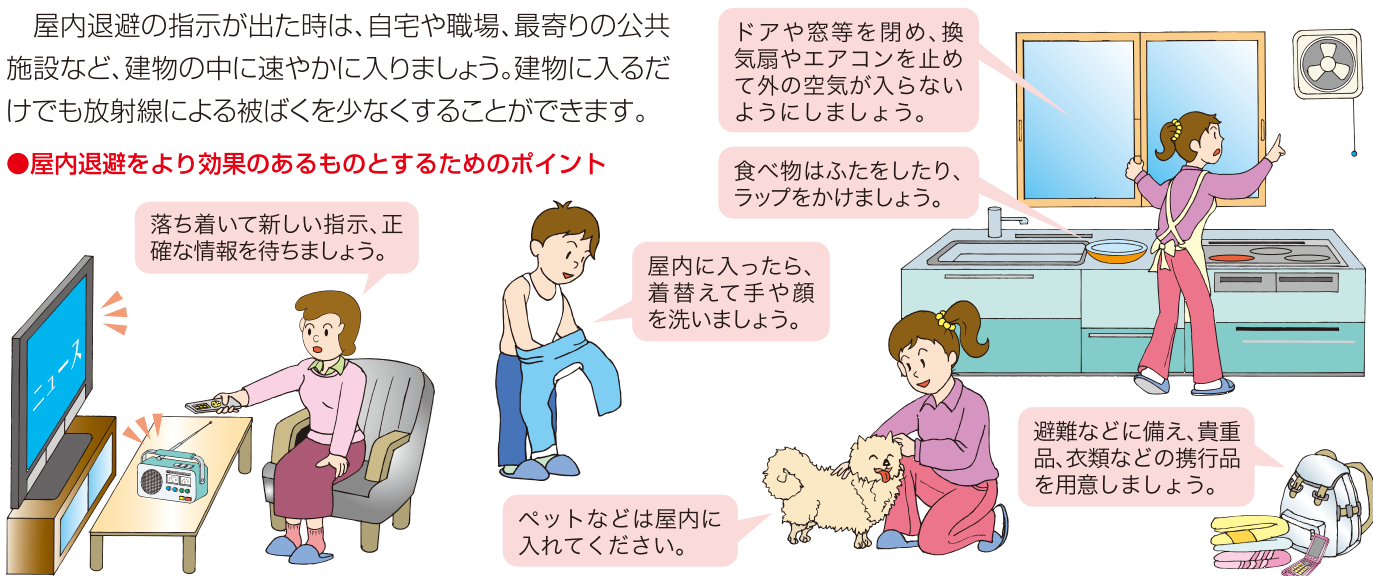
村からは、防災行政無線や広報車などで繰り返し放送しますので、正確な情報が得られます。



3 屋内退避の指示が出されたら・・・

屋内退避の指示が出た時は、自宅や職場、最寄りの公共施設など、建物の中に速やかに入りましょう。建物に入るだけでも放射線による被ばくを少なくすることができます。

●屋内退避をより効果のあるものとするためのポイント

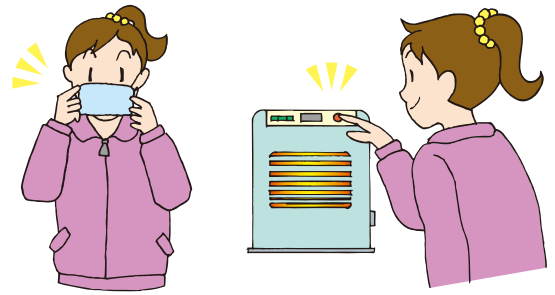


2. 避難の指示が出されたら

避難の指示が出た場合は、あわてず落ち着いて行動してください。

避難をする前の確認ポイント

- ガスの元栓を閉め、冬期間はストーブなどの火の始末をしましょう。
- 家を出るときは、窓やドアなどの戸締まりを忘れないようにしましょう。
- 持ち物は貴重品や身分証明書などの最小限としましょう。
- 近所の人と声を掛け合い、お年寄りや身体の不自由な方を助けながらお互い協力して避難しましょう。
- あわてずに指示内容をよく聞きましょう。
- 避難の際には、体の表面に放射性物質が付着するのを防ぐために、長袖の上着、長ズボン、帽子、手袋、マスク等を身につけ、できるだけ皮膚を露出しないようにしましょう。



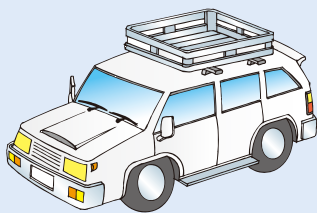
避難方法

◆ 原則、自家用車で避難してください。

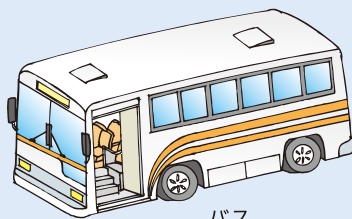
※隣近所、声を掛け合いできるだけ乗り合いしてください。

◆ 自家用車で避難できない方は各地区の一時集合場所にバスを用意しますので、広報をよく聞いて、村の指示に従ってください。

◆ 道路の寸断などにより陸路で避難できない場合は、船舶やヘリでの避難を検討します。



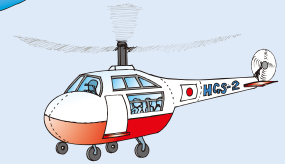
自家用車



バス



船舶



ヘリコプター

3. 安定ヨウ素剤の服用指示が出されたら

原子力発電所で重大事故が起こった場合に、放射性物質の1つである放射性ヨウ素が周辺環境に放出される場合があります。放射性ヨウ素が人の体内に入ると、甲状腺に蓄積し、甲状腺がん発症の可能性があります。安定ヨウ素剤とは、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを抑える効果がある医薬品であり、安定ヨウ素剤を予防的に服用することで、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを予防・低減することができます。

◆ PAZ内(小田野沢、老部、白糠)の地区には、事前配布しています。

安定ヨウ素剤は、効果がある期間が短く(約24時間)、効果的に利用するためには、服用のタイミングが重要となるため、国や県・村から指示を出しますので、指示に従って服用してください。

◆ UPZ内(上記3地区を除くすべての地区)の地区及びPAZ内の未受領者には、避難する際に以下の場所で配布することとしていますので、国や県・村からの指示に従ってください。

配布場所：白糠地区避難施設、東通村体育館、石持地区活力倍增センター、向野ふれあいセンター、大利地区多目的集会施設ふるさと伝承館、下田屋部落集会所、一里小屋婦人ホーム(8ページ参照)